

●発行日 令和6年8月1日

●発行所 朝倉市・朝倉市環境アクション協議会

かべ新聞編集委員会

〒838-0062 福岡県朝倉市堤4-6

電話 0946-23-1153

●印刷 ㈱四ヶ所



古代の自然再発見!! いまさら聞けない! 平塚川添遺跡公園Q&A

Q. ここがスゴイ! ところを教えてください

A.【集落全体の構造が重要な史跡】

平塚川添遺跡は弥生時代（やよいじだい）の大規模な集落の構造が分かる遺跡です。当時の住居である竪穴建物（たてあなとも）の跡は、約300軒発見されています。

住居のほかに、工房や倉庫群があったと考えられる場所や、祭殿（さいでん）とみられる建物、竪穴建物と対になる大型建物（首長館：集会所）の跡が見つかりました。

集落を取り囲むように水のいった環濠（かんごう）が何重にも張り巡らされているのが特徴で、中国史書（ちゅうごくししょ）に伝わる倭国（わこく）時代の集落構造を残す重要な史跡であるとして、平成6年に国の史跡（しせき）に指定されました。

社会教育指導員
川端（かわばた）さん



Q. 何が発掘されたら嬉しいですか？

A.【文字】

“文字”は全国各地の弥生時代の遺跡からもほとんど発見されていない、とても貴重なものです。文字が書かれた木や石、木器が見つければ、歴史が変わる大発見になる可能性があります。

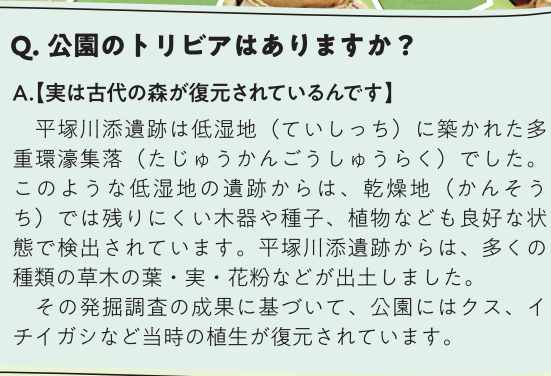
当時、まとまって捨てられたと思われる出土品の中から、下書きや誤字で捨てられたものがどこからか出てくるかもしれないです。

Q. 公園のトリビアはありますか？

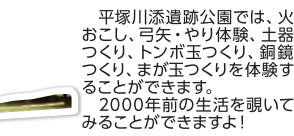
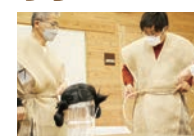
A.【実は古代の森が復元されているんです】

平塚川添遺跡は低湿地（ていしっち）に築かれた多重環濠集落（たじゅうかんごうしゅうらく）でした。このような低湿地の遺跡からは、乾燥地（かんそうち）では残りにくい木器や種子、植物なども良好な状態で検出されています。平塚川添遺跡からは、多くの種類の草木の葉・実・花粉などが出土しました。

その発掘調査の成果に基づいて、公園にはクス、イチイガシなど当時の植生が復元されています。



弥生時代にタイムスリップ!?



詳しくはこちらまで 朝倉市平塚川添遺跡公園 ☎0946-21-7966

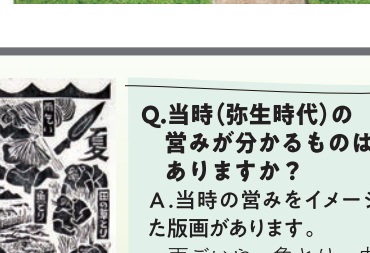
なりきり弥生人!!!

平塚川添遺跡公園が全国第二位の穴場な遊び場! アナビバに!!

B&G財団が今年初めて開催した、“有名ではないけれど、子どもが楽しく過ごすことができる、穴場な遊び場・学び場・たまり場等”をSNSでPRするコンテスト「アナビバグランプリ」。全国から写真部門404点、動画部門162点の計566点の応募が集まり、各部門の最優秀賞、優秀賞が決定。

平塚川添遺跡公園で実施していた「なりきり弥生人コンテスト」にも応募されていた、みどりさんのなりきり弥生人写真がなんと写真部門優秀賞を受賞。そして、めでたく平塚川添遺跡公園が全国2位のアナビバに選出されました。

平塚川添遺跡公園では弥生人になりきれる衣装とかつら（みづら）が無料で借りられます! 皆様も平塚川添遺跡公園で弥生人になりきってみませんか?



Q. 当時(弥生時代)の営みが分かるものはありますか？

A. 当時の営みをイメージした版画があります。

雨ごいや、魚とり、虫おいなど春夏秋冬に分けた版画が平塚川添遺跡公園のガイダンスにあります。探してみてください!

◀作品名: 平塚川添集落の四季一夏一
作成: 佐野 至 (さの いたる) 氏
作成年: 2001年

